

公開します  
審議した主な議案

議決結果はHPでも見られます→



議員の賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対

—印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

他26議案も  
全員賛成で原案どおり  
「可決・同意」しました



議案名	議員名	田中 立男	関根 慶則	岡部 久志	田端 良成	稲村 壤治	鈴木 秀尚	五十嵐 康博	笠原 規弘	大戸 久一	田中 照子	笠原 英彦	高瀬 勉	高橋 さゆり	山口 勝士	島崎 隆夫	高橋 功人	審議結果
令和6年度当初予算	一般会計 99億1000万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計(事業勘定) 36億21万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計 5億6257万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険特別会計(保険事業勘定) 32億8969万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	教育委員会教育長の任命(小林和夫氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	副町長の選任(小暮亮治氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

## 一部事務組合議会から報告

一部の行政サービスを複数の市町村が共同で行うための団体が一部事務組合です。構成市町村の議会から議員を選出しています。

比企広域  
市町村圏  
組合

### 共同指令センターの運用が始まりました!

飯能・日高消防署内に埼玉西部地域8市8町1村が共同で運営します

#### ●比企広域市町村圏組合関係

令和6年度予算総額…約33億9800万円

→小川町負担分…約5億2600万円(15.5%)

(内訳)

消防特別会計…4億8800万円

斎場等特別会計…約1900万円

介護認定・障害支援区分審査会特別会計…  
約966万円



広域や大規模災害への効果的な対応が可能となる

小川地区  
衛生組合

### 中爪の焼却施設は解体へ

老朽化で放置すると危険なため

●令和6年度予算総額 約16億1000万円

→小川町負担分…約4億5000万円(約34%)

可燃ごみについては、現在、彩の国資源循環工場内のバイオガスプラントで処理しています。燃やすのではなく、微生物の力を使って乾式メタン発酵処理をしています。

※微生物は、プラスチックやビニール等を分解できません。分別の徹底が大切です。



バイオガスプラント、発電もしています

次ページは一般質問

# 12月請求分から 水道料金の値上げを決定

コロナ禍や物価高騰の対策で4回にわたり減免されてきた水道料金。安全・安心・安定の「水」は誰にとっても欠かせないものである。老朽化する水道施設・設備の更新や、昨今の社会経済情勢を背景に、27年振りとなる料金改定が示された。

## 値上げの要因

Q 水道料金の値上げに至った要因は。

A 1点目は、水需要の減少です。人口減少が続いていること、また節水機器等の普及により、1人当たりの水需要が減少しました。2点目は、浄水場から送水するポンプを動かすための電気料金値上げ、また物価高騰で人件費や資材費の価格上昇によるものです。3点目は、県水<sup>国</sup>の値上げが予定されている事です。

## 口径別の料金体系へ

Q 家事用や営業用など使用用途に基づく料金体系から「口径の大きさに基づく料金体系」に変更となったが、理由等は。

A 従来の料金体系では、明確な基準を設けることが難しく、同じ給水能力であっても用途による料金差が生じていました。一方で、今回、採用する口径別の料金体系は「口径の大きさ」という明確な基準から料金設定を行うので、より公平性が保たれます。また、県内では84%が口径別料金体系を採用していることも背景の1つです。

### ポイント1

一般家庭では、13ミリと20ミリで90%を占める。

★口径13ミリ・使用水量10立方メートル以下の場合

月額506円値上げ

★口径20ミリ・使用水量10立方メートル以下の場合

月額528円値上げ



将来の更新が必要とされる青山浄水場

### ポイント2

今後10年間は、安定した事業運営のための水道料金を考えている。

### ポイント3

令和6年2月に町は埼玉県と「水道の技術連携に関する協定」を締結した。

## 水の安定供給と持続可能な運営を



名産地である当町は、秩父山系を源とする良質な「水」の宝庫である。また、街の中央を流れる槻川は、圃場を潤し「手漉き和紙」や「小川絹」といった伝統産業を支えてきた。蛇口をひねれば当たり前使える「水」が使えなくなってしまう…。莫大な費用が見込まれている「青山浄水場」の更新や県水の受水量(割合)など、埼玉県とともに対策を見出してもらいたい。引き続き、安定した水の供給と持続可能な水道事業に向けた各種取組の推進に期待する。

利根川の水を使って行田浄水場で作った水。この水を小川町まで送水管で運び、青山浄水場で小川町の水と混ぜて配水している。